

WELL 通信

社会福祉法人
ウェル清光会



中面特集
介護×IT 「眠りSCAN」で
入居者様に健やかな生活を

一人でも多くの方に「この人生は素晴らしいかった！」と思つていただけるよう、お手伝いをすることが私たちのミッション。自分自身の大切な方に介護が必要になつたとき、「ウエル清光会が一番ですよ」と、従業員全員が胸を張つて言える施設運営を目指しています。また同時に、「生涯現役」も私たちが取り組んでいます。現役で活躍し続けることが日本を救うことになります。職員全員が仕事に誇りを持って生涯働き続けられる職場づくりに挑戦してまいります。

地域のみなさまには、こうした取り組みをこころよくお願い申し上げます。

ウエル清光会 理事長 小池由久

ごあいさつ
ウエルグループ
は「全従業員の物心両面の幸福の追求と、福祉と教育を通じて六方笑顔を創造し、社会の成長発展に貢献する」を経営理念としています。



柔道整復師によるリハビリ

デイサービス利倉清豊苑では、利用者様のご希望により細やかにお応えするために、2020年7月より短時間のサービス提供も実施しています。午前もしくは午後の3～4時間で、入浴や食事、柔道整復師による機能訓練などのサービスを提供いたします。もちろん、入浴とお食事だけ、お食事と機能訓練だけ、という個別のおニーズにも対応。朝早く起きるのが苦手な方や、お風呂に入れる場所がなくて困っている方にも便利にご利用いただけます。

専用の車椅子にお乗りいただいた状態で湯船とドッキングして、肩までゆったりとお湯につかることができます。またお湯を感じるお風呂」を楽しむイベントもご用意。香りを楽しみながら、全身も体験型のお食事もあり、昔を思い出したりとお湯につかることができます。皮膚疾患のある方やお一人での入浴が難しい方は、個浴で対応。お家のお風呂に一人で入ることができるように訓練もしています。

昼食は、栄養士が考案したバランスのよいメニューを施設内で調理し、松花堂弁当スタイルでご提供。イベント時にはトッピングなどを「自分で楽しむ」お食事もあります。昔を思い出されて生き生きと意欲的な方がたくさんいらっしゃいます。500円でぜひお気軽に体験利用が可能ですので、お食事付きの体験利用ができますので、お越しください。



午前または午後のみの短時間サービスにも対応中

座ったまま入浴できる「機械浴」を設備



お風呂は、大浴場や個浴だけでなく、座ったまま入浴できる「機械浴」を設置しています。

い方は、個浴で対応。お家のお風呂に入ることができるように訓練もしています。

| 事業所 PICK UP |
デイサービスセンター利倉清豊苑



短時間～1日利用が可能。
個々のニーズに応えます。

【事業所概要】
〒561-0845 大阪府豊中市利倉3-4-19
☎06-6210-6587(デイサービス専用)
●対応エリア: 豊中駅周辺の北エリア～豊中市南部全域、尼崎市(車で片道30分以内)
●定員: 35名



私たちが
お迎えします!

利倉清豊苑
管理者 黒田八千代
看板犬 あづき



ウエルグループ

■清豊苑
特別養護老人ホーム
〒561-0891 大阪府豊中市走井2-8-5
☎06-6845-2525

■利倉清豊苑
地域密着型特別養護老人ホーム／デイサービス／グループホーム／小規模多機能型居宅介護施設
〒561-0845 大阪府豊中市利倉3-4-19
☎06-6210-6585

■美豊苑
特別養護老人ホーム／ケアプランセンター
〒560-0035 大阪府豊中市箕輪2-13-12
☎06-6840-7077

■刀根山美豊苑
地域密着型特別養護老人ホーム／デイサービス／グループホーム
〒659-0034 兵庫県芦屋市陽光町3-75
☎0797-31-7161

■ウエルケアプランセンター
〒561-0858 大阪府豊中市服部西町2-2-18-103号 ☎06-6864-5530

■輝豊苑
デイサービス／グループホーム
〒560-0013 大阪府豊中市上野東2-4-47
☎06-6855-0110

■ウエリスト
小規模多機能型居宅介護施設／デイサービス
〒560-0035 大阪府豊中市箕輪2-2-23
☎06-6840-7830

■陽光苑
地域密着型特別養護老人ホーム／デイサービス／グループホーム
〒659-0034 兵庫県芦屋市陽光町3-75
☎0797-31-7161

■宝塚清光苑
特別養護老人ホーム／デイサービス／グループホーム／小規模多機能型居宅介護施設／ケアプランセンター／定期巡回サービス
〒665-0066 兵庫県宝塚市仁川団地4-15
☎0798-51-5510

■社会福祉法人香聖会 宙豊中
地域密着型特別養護老人ホーム／グループホーム／小規模多機能型居宅介護施設
〒560-0051 大阪府豊中市永楽荘4丁目1-3
☎06-6846-2111

■パセム西宮
有料老人ホーム
〒663-8006 兵庫県西宮市段上町6-24-43
☎0798-53-0050

■庵とよなか庄本
有料老人ホーム
〒561-0835 大阪府豊中市庄本町1丁目7-26
☎06-6331-3737

ウエルグループ

は、介護品質の
向上や業務の
円滑化を目指し
て、ＩＴの導入
にいち早く取り
組んできまし
た。その一つが、

睡眠状態を可視化する「眠りSCAN」の
活用です。2018年からスタートし、現
在はグループの全ベッドへの導入が完了。
現場には著しい効果が現れています。

可視化できない「睡眠」の課題と リスクの解消に向けて

Q 眠りSCANとはどのようなもので
すか？
岡森 ベッドのマットレスの下に設置した
センサによって、入居者様の心拍や呼吸、
寝返りなどの体動を測定し、睡眠状態を可
視化するシステムです。「睡眠」「覚醒」「起
き上がり」「離床」という4つの状態で表
され、パソコンやスマートフォンからリア
ルタイムに見ることができます。

Q 導入に至った背景は？
加藤 ウエルグループでは、介護品質の向
上のために全事業所でＩＴ化を推進してい
ます。中でも、経験や勘などのアナログに
頼っていた「睡眠」にＩＴを導入すること
で、抱えている課題を解決できるのではないか
と思いました。



睡眠データはスマートフォンからも閲覧可能。いつでもどこでも入居者様の状態を確認できる。

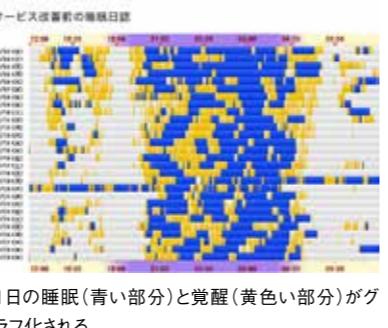


岡森 今は、眠りSCANのアイコンが覚
めていますか？
岡森 アプリの画面に入居者様全員の睡眠
状態が表示されるので、夜勤中はパソコン
が見える場所で待機しています。一人の方
の排泄を終えたら一度戻つて画面をチェック
し、異常がないことを確認してから次の
方へ、と絶えず意識するようになります。

加藤 夜間のトイレのお声がけにも役立つ
ています。これまで、職員が記録した睡
眠時間とともに起ききてきそうな時間を予
測してお声がけしていました。ただ、予測
を間違えると入居者様は眠い中起こされ
し、その後寝つけなくなってしまうという
問題がありました。

岡森 今は、眠りSCANのアイコンが覚
めていますか？
岡森 はい。1日の「睡眠」と「覚醒」の
状態が明確にグラフ化されるので、ご家族
も納得されますし、主治医への報告や相
談もしやすくなりました。また、データか
らお昼寝の時間が長すぎると感じたら、夜
しっかり眠るためにお昼に少し起きていた
だく、などの対処をとることができますね。
シヨートステイの際も、ケアマネさん
に「生活リズムが分かった」と非常に喜ば
れていますね。

Q 今後はどのようにＩＴを活用していく
ますか？
加藤 ウエルでは、全入居者様の食事や体
温、血压、トイレの時間など生活のデータ
を記録する「総合記録シート」を作成して
います。いずれはこの記録と眠りSCAN
のデータを連携させて一括管理したいと考
えています。そして、そのデータにご家族
が外部から安全にアクセスできる体制を整
え、情報開示を進めています。



1日の睡眠(青い部分)と覚醒(黄色い部分)がグラフ化される。

生活リズムの調整や 転倒事故の防止に役立つ

岡森 夜間の転倒事故も格段に減りましたね。事務所にいても入居者様
が起きたことが瞬時に分かるので、

毎日の生活リズムを比較することで、異常
の発見にもつながります。例えば、いつも
はぐっすり眠っているのに最近は夜中に起
きているという場合、その時間に何かが起
きているのか、もしかするとお薬の
効果がされているのか、などと予想
して仮説を立てることができるので
す。

岡森 とくにこの一年は新型コロナウイル
スの影響でご家族が入居者様と直接会うこ

見守り支援システム 眠りSCANとは？

マットレスの下に設置したセンサにより、体動(寝返り、
呼吸、心拍など)を測定し、睡眠状態を把握します。



- ◎導入メリット
1. 生活リズムの調整に役立つ
2. 事故防止につながる
3. 労力削減による介護品質向上につながる



ウエルの「今」を
深堀り！

社会福祉法人香聖会 宇豊中の
(施設長)加藤大輔
(ユニットリーダー)岡森伸次



介護×IT「眠りSCAN」で 入居者様に健やかな生活を



青は睡眠、黄色は覚醒、グレーは離床と一目で睡眠状態を把握できる。

Q その課題とは？

加藤 これまで、入居者様の夜間の睡眠
状態を職員の目で判断していました。しか
し、実際に眠っているかどうかは入居者様
ご本人しか分かりません。眠っているよう
に見えても、目を閉じて横になっているだけ
かもしれませんから。そのため、ご家族
に「よく眠っていましたよ」とご説明をす
るにも、説得力がありませんでした。また、
睡眠薬を服用されている場合も、薬が効
いているかどうかを正確に確かめる術がな
かつたのです。

岡森 とくに経験の少ない職員は、「自分
の判断が間違っていて事故が起きたらどう
しよう」と夜勤を不安がっていましたね。
また、2時間に一度は巡回に行きますが、
一度に全ての入居者様を見る事はできな
いので、職員の目の届かないところで入居
者様が起き上がりで転倒する危険性もあ
りました。

Q とができず、不安を感じていらっしゃる
と思います。そんな時にも、しっかりとデー
タで生活状況をお伝えできれば「ちゃんと
見てくれている」という安心感につなが
ります。

また、以前は睡眠時間のグラフ化を職員の
手作業で行っていたので、労力も大幅に削
減され、業務に余裕が生まれました。その
分、入居者様に関わる時間を増やすことが
できます。これからもＩＴを活用して、一
人ひとりと丁寧に関わる介護を実践してい
きたいと思います。

加藤 入居者様やご家族にとって良いも
のは積極的に取り入れていきたいですね。
感覚や勘だよりの介護から脱却し、根拠
のある質の高いサービスへの転換を目指
します。